

「研究発表要項、抄録様式及び抄録記入例」

Microsoft wordにて応募抄録を作成、送付してください。

1. 演題名：全角 50 文字以内
2. 発表者名：10 名以内（当日発表者の冒頭に○印をつけてください）
3. 発表者・共同研究者の所属先名称：肩書・職種・役職は不要です
番号を振る場合は氏名の後ろに入力してください
4. 抄録本文：全角 600 字以内（写真、図、表の挿入不可）

抄録の構成

（1）研究報告の場合

【目的】【方法】【倫理的配慮】【結果】【考察】

（2）実践報告の場合

【目的】【事例の概要】【倫理的配慮】【結果】【考察】

※ 設定文字数を超過しますと抄録印刷時に支障する場合がございますので、適切な文字数に調整をお願いいたします。

標準フォント(MS 明朝)を用い、文字は 10.5 ポイントで作成してください。

次ページの抄録記入例を参考にしてください。

(抄録記入例)

演題名 : 附属病院 BCP の最適化に向けた院内原子力災害対応ロジスティック研修の開催

発表者名 : ○石垣里菜 1、辻口貴清 2、伊藤勝博 2、富澤登志子 3、因直也 3、山内可南子 3、細川洋一郎 3

所属 : 1) 弘前大学医学部保健学科
2) 弘前大学災害・被ばく医療教育センター
3) 弘前大学大学院保健学研究科

【目的】

事業継続計画（以下 BCP）とは緊急時における事業継続のための手段を決めておく計画のことである。当院では、一般災害に加え原子力災害時の対応を含めた BCP を策定しているものの、原子力災害を模した訓練をした実績はまだない。そこで本研究では、当院 BCP の今後の最適化に資する情報をまとめることを目的に、原子力災害時の情報フローシナリオを開発し、災害対応要員に対し研修を行った。

【方法】

BCP 上の災害対応要員となる事務職を対象に、原子力災害に伴う災害対策室の運営実習を行った。研修内容は、講師側が内線 10 および外線 13 のシナリオ情報を災害対策室に入電し、BCP を基に解決できたか否かを評価するものとした。

【結果】

研修実施により、BCP に解決策が記載されていない項目および解決に時間を要する項目として、以下のような内容が洗い出された。

- ・トリアージエリアに必要な物品の保管場所について記載がなく、調達に時間を要する可能性が高い
- ・原子力災害時における診療放射線技師の派遣フローが明記されていない
- ・報道機関及び患者家族からの問い合わせに対する対応が明記されていない
- ・院内の被害状況報告様式が複雑で、まとめる作業に時間を要する可能性が高い

【結語】

研修により、BCP の改良に資する情報を洗い出すことができた。得られた知見を基に BCP の改訂に繋げると共に、BCP に係る要員に対する定期的な訓練・研修の実施を継続していくことが重要である。

(590/600words)